

Mission

企業理念

お客さまのために

カスミグループはお客さまのためにある お客さまのご利益を最優先に、お客さまの立場に立って考え行動する
そして、地域の発展と繁栄をねがって地域に深く根ざした企業でありたい

For the “Customers” & For the “Community”

Vision

経営理念

「大きさ」や「強さ」を誇る企業より『お客さまと時代に適応し続ける企業』になりたい

Changing & Learning with the Customers

経営方針

最良の企業になるのではなく、地域の一店一店を最良にしたい

たった一店しかなかったときのような

思いで地域に根づかせたい

「個」を最良にするためにだけ「全体」が機能したい そして社会に責任と貢献を果たし続ける企業でありたい

“Business is Local” & “System is Global” & “Activities are Sustainable”

Core Value

価値観

カスミは、「よろこびを分かちあえる食卓づくり」を使命とします。

いつだって食卓には夢があります。だれだって食卓には希望をもちます。

その夢や希望を育むために私たちの仕事があります。 私たち一人ひとは決して強くはありません。

でも人をつなぐ絆の強さ、地域への想いの強さは私たちの誇り。

だれにも負けない自信があります。

人をしあわせにできるのが私たちの仕事、

だから自分たちもしあわせになれると信じます。

よろこんでいただくことをよろこびにカスミはだれもが

安心・元気・笑顔になれる 商品とサービスの提供をお約束します。

KASUMI

株式会社カスミ

〒305-8510 茨城県つくば市西大橋599-1

TEL 029-850-1850

<https://www.kasumi.co.jp/>



環境に配慮した植物油インキで
印刷しています

KASUMI

会社案内

環境・社会貢献活動報告書

2023



Beyond Supermarketを目指して ビヨンドスーパーマーケット

経営を支える力



商品・サービス力

- ・新しい商品・独自の商品、地元野菜など
- ・DX推進



多様な開発力

- ・店舗開発
- ・商品開発



多様な人財の活躍

- ・透明性あるキャリアアップ
- ・フレキシブルパートナー制度



チーム力

- ・従業員約1万6千人
- ・専門人財(管理栄養士・ソムリエなど)



地域との繋がり

- ・地域社会との連携
- ・多様な取引先



SDGs

- ・リサイクル・脱プラの取り組み
- ・環境可視化



成長力

- ・営業収益2845億62百万円
(2023年2月末現在)

カスミが目指すもの

Well-being

ウェルビーイング

食を中心とした幸せな社会への貢献

新たな 顧客体験

持続可能な サプライチェーン

生活を豊かにする4つの提供価値

突き抜ける鮮度

鮮度にこだわった商品をお届けします。

商品との出会い

驚きや発見のある商品をお届けします。

エンリッチ

食生活を豊かにする商品をお届けします。

繋がり創出

地域社会を結ぶ機会・サービスをお届けします。

新たな価値の創造

新たなスーパーマーケット のカタチ

価値ある 商品・サービスの提供

地域に根差した エリア展開

お客さまに寄り添う DX戦略

多様な人財が活躍できる 機会づくり

共生社会の実現



代表取締役社長
山本 慎一郎

スーパーマーケットをこえて前に進む

カスミが生まれて60余年が経過し、世界はそして日本は大きく変わりました。世代や文化、常識や風習、生き方や家族のありかた、家庭の役割や仕事の意味、人々の心の中にある風景、すべてが以前とはすっかり変わりました。また産業構造や、ファッション、政治的な課題、企業の競争状態、経済のグローバル化など、日々のニュースを彩る話題も大きく変わりました。さらに有限な資源や有限な地球、気候変動や生態系の変化など、人間が依存している環境そのものが、このまま放置できない状況に陥っています。

しかし、人類は、いや地球上に生きる生命は、生まれてから常に過酷な環境に立ち向かい、時には環境を変え、さらには自身の生物としての機能を変えて、厳しい環境の変化を乗り越えてきました。いや、乗り越えてきたものだけが現在に残っていると言えるでしょう。

人が生きるには安全な水や空気、適度な気温、豊富な食糧が必要です。さらに家族や仲間が生きていくためには、衣類や住居、快適な社会設備が必要になります。

人は一人では生きていけず、家族や仲間と手を取り合って、共通の目標に向かって、時には笑い、時には怒りながら前進することが必要なのです。

カスミはスーパーマーケットと呼ばれる業態を中心に事業を展開しています。初期には安全で安価で豊富な食品を提供することが、社会のニーズに沿った役割でした。お正月に始まり、行楽やお盆、家族や友人との家庭での食を満たすことが使命でした。それが拡張し、外食や住居関連、自動車や旅行まで、人々の生活を潤すためのビジネスを拡大していきました。しかし、人々の生活が豊かになり、生活体験が豊富になり、単なる商品やサービスではなく、そこに意味を見出すことが求められるようになったとき、事業の専門性の観点から、事業の再編を行い、食品スーパーマーケットに集中する体制に変革しました。

現在、そのスーパーマーケットもまた高い専門性を要求される時代を迎えています。食の意味、食品の役割、歴史、提供のための物語、本物の追求…食を中心とする生活に対する、今一步深い専門性が要求される時代を迎えていると思います。

2050年を見据えて、カスミは大きく変わろうとしています。人の創造性を最大限に活かし、新しい技術を縦横に使い、単なる食料品の提供者から、食を中心にした幸せな社会への貢献、何よりも人々の幸せを願う企業になりたいと考えています。

原動力は人の繋がりです。お客さま、社会との繋がり、生産者、製造事業者、中間流通事業者との繋がり、カスミはそれらの中心にある軸受け・車軸として、これからも人の幸せの実現に尽くしていきたいと願っています。

皆さまにとって好ましい存在になるために、私たちは全力で変わり、壁をこえて進んでいきます。

新たなスーパーマーケットの“カタチ”

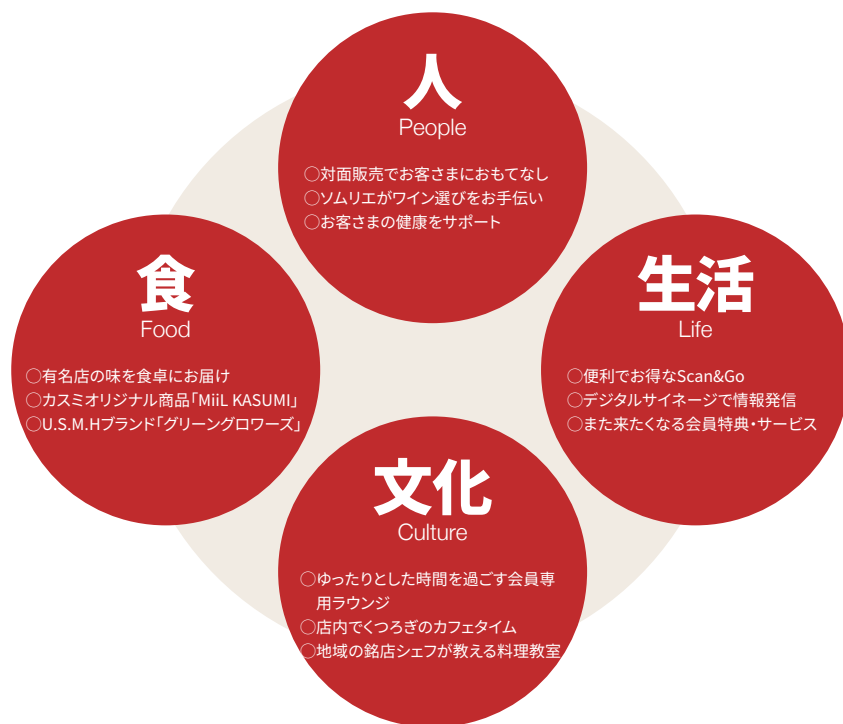


BLANDE

『人・食・生活・文化』

「BLANDE（ブランデ）」は、お客さまに新たな価値をお届けするために開発した新しい店舗フォーマット。この新業態の2店舗を、2022年1月と2月に茨城県つくば市に相次いで出店しました。「BLANDE」はデンマーク語で「混ざる、交わる」という意味。目指したのは、商品やサービスを通じて人、食、生活、文化が交じり合うお店。「こんな商品があるんだ」という驚き、「食べてみたらおいしかった」という体験価値を提供する店舗づくりです。

つくば並木店は、食と健康をテーマにドラッグストアとの融合を図った専門性の高いコンビネーションストア。一方、研究学園店は、フードスペシャリティストアとして食に特化。こだわりの商品や新たな商品の提供で、お客さまに選ばれ続ける店舗を目指します。



BLANDEの特徴

買い物時間を楽しむ「滞在性」にこだわった店舗づくりが特徴。「Cafe & Dine（カフェ＆ダイニング）」では、店内加工のスムージーやジェラート、軽食を居心地の良い空間でゆっくり楽しめます。店内各所にイートインコーナーを約90席設け、インスタアペカリー「DELY BREAD（デリーブレッド）」で買った焼き立てパンを近くのイートインコーナーで食べられるようにしました。

お客さまとのコミュニケーションにも力を入れています。鮮魚、精肉、生花コーナーとデリカコーナーで対面販売を行うほか、「クッキング・コミュニケーション」コーナーではオープンキッチンで実演調理をしながら旬の食材やトレンドを反映したレシピを提案。「ワインバー」ではソムリエと会話しながらワインやチーズを有料で試飲・会食ができます。研究学園店2階のイートインコーナー横には「クッキングスタジオ」を導入。地元の銘店シェフなどによる料理教室を定期的で開催しています。



対面販売



クッキング・コミュニケーション



クッキングスタジオ

デジタル技術を使って便利さと販売力を強化

オンラインデリバリーで注文した商品を店舗で受け取る



ピックアップルーム

お得で役に立つ情報を大画面で発信



デジタルサイネージ

つくば市、水戸市、守谷市のエリア内の店舗の商品をオンラインデリバリー 1 回の注文で購入できる



LFS（ローカル・フルフィルメント・ストア）

再生可能エネルギーへのシフト



BLANDE eco 環境モニター

BLANDEは再生可能エネルギーを100%調達しています

進化する B L A N D E



「モーニングサービス」メニューイメージ（写真・上）と
「ワインバー」（写真・下）

研究学園店の店舗に隣接して設置した「ドッグラン」（写真・上）と
子ども用遊具（写真・下）

価値を生む 新たなサービス



Twitter



Instagram

BLANDEは、オープンから1年を迎えました。売り場やサービスなどを通してお客さまとの接点を深める店舗づくりは、さらに進化を続けています。たとえば「Cafe & Dine」では「モーニングサービス」を開始。7:30～11:00に店内加工のクロワッサンやヨーグルト、フルーツ、サラダ、ドリンクを味わえ、セットメニューも選べます。また、「Scan & Go」アプリにピッツアやパスタ、カレーなどの食事をレジに並ばず注文できる「Order & Eat（オーダー&イート）」のサービスを追加。Cafe & Dineで出来立てを味わえ、テイクアウトも可能です。対面式カウンターを設置したワイン&チーズ売り場は、「Bar Time」として午後9時まで営業時間を延長（曜日限定）、仕事帰りなどに気軽にワインを楽しめるようにしました。

ポイント付与の面では、食品ロスを減らして環境に優しい消費行動（エシカル消費）を推奨するために、一部の生鮮品を「Scan & Go」で購入すると適用される「エシカルクーポン」を導入。雨の日に「Scan & Go」アプリで専用クーポンを読み取ると、ポイントが付与される「雨の日クーポン」も導入しています。

アプリ内のアンケートやSNSでのお客さまの声をサービス改善に生かす取り組みにも力を入れています。たとえば会員制プログラム「BLANDE Prime（ブランデ プライム）」Gold会員のお客さまのコーヒー無料サービスに、新たに紅茶を追加しました。今後もお客さまの声を傾聴しながらサービスの進化、改善に努めていきます。

Scan & Go
利用率
約40%



BLANDE Prime会員
1万人突破

お客さまとの接点を深めるために導入した会員制プログラム「BLANDE Prime」は、さまざまな特典が好評で会員数1万人を突破。レジを通らずにスマートフォンで決済できる「Scan & Go」は利用率約40%となり、お客さまに特別な価値を提供しカスミと繋がるプラットフォームとして支持をいただいています。品揃えの核であるカスミのオリジナル商品「Miil KASUMI（ミール カスミ）」は当初の1,300商品から1,700商品を超えるまでに拡大しています。

Miil
商品数
1700種類
に拡大

価値ある商品の提供

価値ある商品を食卓にお届けします

お客さまの食卓に価値ある商品をお届けするために、新たに誕生したカスミオリジナル商品「MiiL KASUMI」をはじめ、地域の逸品をお届けする「地域商品」、地元で採れた新鮮な旬の野菜「地元野菜」など、U.S.M.Hのシナジー効果を生かした高品質のプライベートブランド「eatime」、「eatime chef」とカスミならではの品揃えを追求しています。また、THE TERRABASE 土浦が新たに稼働しました。製造から販売まで、食に関わるすべての工程を一貫したサプライチェーンを構築する製造小売業を目指して、お客さまのニーズに合った商品を素早く低コストでお届けしてまいります。

MiiL
KASUMI
ミール カスミ
original

カスミならではのオリジナル商品です

「カスミオリジナル商品」 — 良い日常は、良い食生活から —

MiiL
KASUMI
ミール カスミ
premium

豊かな食生活を演出する
こだわり商品です

MiiL

「MiiL KASUMI」は、食事＝ミール (Meal) と、カスミ (KASU “MI”) を掛けた造語です。「良い日常は、良い食生活から」をテーマに、カスミならではのオリジナリティやこだわり、地域との繋がりを大切にして開発された3つのカテゴリーの商品です。

MiiL
KASUMI
ミール カスミ
marché

地域との繋がりを大切に
したベストローカルな商品です

MiiL Journal



MiiL original のジャム



MiiL marché のローストビーフ



MiiL premium のベビーリーフ



「冷凍食品開発」

食品本来の鮮度を保ち、おいしさそのままに冷凍した商品を製造する自社施設を2022年9月に稼働。新しい熱交換技術を導入することにより、おいしさを損なうことなく鮮度保持期間を延長できる商品の開発と安定供給、食品ロスの削減を目指します。第1弾はカスミオリジナル商品「MiiL KASUMI」として、つくば市のピッツァの銘店が監修した冷凍ピッツァを製造。カスミの約170店舗で販売しています。



「地域商品・地元野菜」

2001年から地元生産者さまの協力のもと、長く愛され続けるふるさとの味を「地域商品」として大切に販売しています。地元で採れた新鮮な旬の野菜「地元野菜」は、1804人の生産農家さまの協力を得て162店舗でお客さまにご提供しています。また、地元食品メーカーさまとともに、新たな地域商品の開発に取り組んでいます。

地域社会との絆から生まれた新商品



より地域社会に密着した店舗づくりを進めるため、カスミはその地域の生産者やメーカーなどの皆さまと協力しながら、商品開発を行ってきました。2022年11月にはひたちなか市の茨城県立海洋高等学校の生徒がレシピを考え、大洗産しらすを使った「しらすのさつまあげ」を発売しました。

「U.S.M.H プライベートブランド」



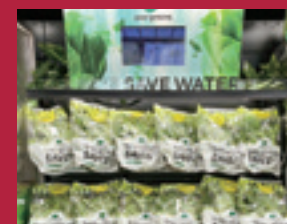
eatime (イータイム)

「厳選した逸品との美味しい出会いでまいにちの食事をもっと “ いい時間 ” に」をコンセプトに、U.S.M.H グループのシナジー効果を生かして開発した高品質のプライベートブランド。2023年4月末現在、幅広いカテゴリーの188商品を品揃えています。



eatime chef (イータイムシェフ)

「eatime」のオンラインデリバリー専用ミールキット。有名シェフや料理研究家、管理栄養士の監修のもと、約20分で主菜・副菜の2品が手軽に調理できる逸品メニュー。2023年4月末現在24品を展開。また、冷凍食品を新たに12品導入。気軽に日常生活にちょっとした贅沢感や特別感を取り入れることができます。



green growers (グリーン growers) レタス

棚ごと密閉する人工光型植物工場「THE TERRABASE 土浦」(U.S.M.Hが運営)で栽培、柔らかくて味が濃く、後味がすっきりしているのが特徴。



BEYOND BEEF (ビヨンド・ビーフ)

エンドウマメからできた植物由来の代替肉。牛肉をミンチしたような商品はハンバーグなどさまざまな料理の材料として楽しめ、ビヨンド・ビーフを使ったデリカ商品やベーカリー商品も販売。

地域に根ざしたエリア展開

お客さまにとってより買い物しやすい環境づくりのために

カスミは従来の「フードスクエア」「フードマーケット」「フードオフストッカー」の3業態に加え、2022年から新業態「BLANDE」の店舗を展開。それぞれの地域に最も適した商品やサービスの提供を目指すとともに、移動スーパーやオフィススマートショップ（無人店舗）、オンラインデリバリー（ECサイト）などにより、お客さまへ多様な買い物の機会の提供を目指します。2022年度は新規8店舗の出店と大型改装による業態変更を1店舗行い、茨城県と千葉県外房エリアのお客さまの買い物しやすい環境づくりを推進しました。



FS 古河諸川店 ▶ 2022.7.15 OPEN



FS 八千代店 ▶ 2022.6.23 業態変更

茨城県エリア

茨城県内では2022年度、FS 八千代店（2022年6月23日）をリニューアルオープンしたほか、FS 古河諸川店（7月15日）、FS 東海中央店（12月1日）、FS 友部旭町店（2023年2月17日）の3店舗を新規オープン。「良い日常は、良い生活から」をテーマに、カスミならではのオリジナル商品「Miil KASUMI」を導入するなど、地域のお客さまのニーズに合った品揃えと豊かで楽しい日常の食生活の提案により、食の専門性を高めた店舗づくりをしています。FS 東海中央店、FS 友部旭町店には、BLANDE で好評な「Cafe & Dine」を導入。店内加工の食事やドリンクをくつろぎの空間で味わえます。



FS 友部旭町店 ▶ 2023.2.17 OPEN



FS 東海中央店 ▶ 2022.12.1 OPEN

FS 東海中央店

FS 友部旭町店

FS 古河諸川店

FS 八千代店

旭店

大網店

成東店

茂原マーケットプレイス店

睦沢店

千葉県エリア

千葉県内のドミナント強化、食のライフライン機能と雇用維持を目的に、2022年7月から9月にかけて、外房地区に茂原マーケットプレイス店、旭店、成東店、睦沢店、大網店の5店舗を相次いでオープンしました。地域で長く愛されてきたお馴染みの商品はもとより、カスミのオリジナル商品を加えることで、地域のお客さまのニーズに合った品揃えと、ライフスタイルに応える豊かで楽しい日常の食生活を提案し、地域で一番愛されるお店を目指します。大網店のオープンにより、千葉県内の出店は40店舗となりました（2022年9月16日現在）。



大網店 ▶ 2022.9.16 OPEN



旭店 ▶ 2022.8.5 OPEN



成東店 ▶ 2022.8.26 OPEN



茂原マーケットプレイス店 ▶ 2022.7.29 OPEN



睦沢店 ▶ 2022.9.2 OPEN

多様な販売チャネルと受け取りサービス

新たな顧客体験の創造と 安全・安心で便利なスーパーマーケットを目指して

カスミは「あらゆる人に食を届ける」ために、デジタル技術を活用した新たな顧客体験の創造と安全・安心で便利なスーパーマーケットの実現に向けた取り組みを進めています。その取り組みが評価され、2022年4月には経済産業省が定めるDX認定制度に基づく「DX認定事業者」に選定されました。



【移動スーパー】

お買い物が不便な地域の皆さまに商品とお買い物の楽しさをお届けする移動販売。茨城県内15市6町1村、千葉県内11市3町、埼玉県内7市2町、栃木県内3市2町、合計車両59台での運行とサービスエリアを拡大しています(2023年5月末現在)。おにぎりやお弁当をはじめ、野菜や魚、肉などの生鮮食品、牛乳やパンなど購買頻度の高い生活必需品約650品目をご提供するとともに、コミュニティづくりに取り組んでいます。



【オフィススマートショップ】

オフィスや工場、病院、自治体等の省スペースに設置可能な無人店舗。支払いはScan&Goアプリのみで「近くにスーパーやコンビニがない」「従業員の食環境を改善させたい」という自治体や法人から人気のサービスです。2023年4月末現在、105拠点を展開しています。

【オンラインデリバリー】

オンラインデリバリーは、食料品から日用品まで毎日の生活に必要なものを「便利」「安全・安心」にお届けするサービスです。

自宅にいながらお店の商品をご注文。ご自宅や配達エリア内のご指定先、または店舗でお受け取りできます。



ピックアップルーム



カーサイドピックアップ
一部店舗ではお客さまがお店に入らずに商品を受け取れる専用スペースを用意。従業員が注文いただいた商品をお車までお持ちいたします。



BLANDE Selection (ブランデセクション)

良い日常、良い食生活をお届けするカスミならではのオリジナル商品「MiiL KASUMI」は、食事を楽しむ定番のoriginal (オリジナル)、地元ならではの marché (マルシェ)、お客さまの豊かな生活を演出し、安心でこだわりのpremium (プレミアム) の3種類。このMiiLなどBLANDEで好評な商品を「BLANDE Selection」として、フードスクエアなど他業態の店舗でもコーナー展開しています。



U.S.M.H 独自の
デジタルブランド

Ignica
イグニカ

ignica POS (イグニカポス)

ニューノーマル時代の新しいPOSシステム。誰でも使いやすいシンプルデザイン、操作を誘導するよう設計されたカラフルなボタンで、迷わない画面操作を実現、多言語にも対応しています。

Scan & Go (スキャン&ゴー)

U.S.M.H 独自の決済システム。商品のバーコードをスマートフォンで読み取り、レジを通らずキャッシュレスでお買い物ができます。非接触型で安全・安心、しかも便利なお買い物体験を提供します。

Online Delivery (オンラインデリバリー)

オンライン商品配送サービス。PC やスマートフォンでサービスを提供する店舗に商品を注文。自宅への配送のほか、店舗や職場での受け取りも可能で便利なサービスです。

ignica money (イグニカマネー)

お買い物専用アプリ「Scan & Go」の新たな支払い方式として誕生したプリペイド式電子マネー。店内設置専用機から Scan & Go アプリに現金をチャージ後、電子マネーとして利用できます。

ignica Signage Service (イグニカサイネージサービス)

リアル店舗で AI デジタルサイネージ（電子看板）をネットワーク化し、商品情報や料理レシピ動画、生活情報など、お客さまにとって価値ある情報をリアルタイムで配信します。

ignition for cultural life...

“新しいスタイルや信条を持った人生に点火する”

ignica（イグニカ）は、これらのリテールの在り方の創造を目指して U.S.M.H から誕生した私たち独自のデジタルブランドです。



Scan&Go(スキャン&ゴー) カード

お買い物専用アプリ「Scan & Go」の魅力を、スマートフォンをお持ちでないお客さまにも提供することを目的に2023年6月から配布をスタート。カスミでのお買い物がより楽しく、便利になります。
新しいお買い物体験が始まります。

カスミが営業を始めてから62年の間、さまざまな社会環境の変化がありました。

特にコロナ禍で私たちの生活は一変しましたが、カスミはどんな時も、その時代にあったベストの価値をご提供したく、お客さまと一緒に時代に適応し続けることを第一に考えてきました。

今また、急激に世の中が変わり、私たちを取り巻く暮らしや環境も変わり、

カスミに求められる役割はさらに変化しようとしています。

ともに暮らす地域にさらに深く根ざし、お客さまの生活スタイルにさらに寄り添う、そのために必要なものはなにか考えました。

もっと身近に、もっと便利に、もっとお得に、楽しくてワクワクするお買い物体験をみなさまへお届けしたい。

そんな想いから、毎日のお買い物が楽しくなる

「Scan & Go カード」を作りました。

多様な人財が活躍する機会づくり

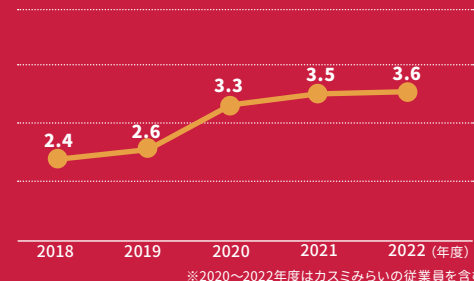
カスミは多様な人財が活躍するダイバーシティ & インクルージョン企業を目指しています。障がい者や外国人などの雇用に努めるとともに、従業員の仕事と家庭生活の両立支援や女性活躍の推進など働きやすい制度・環境づくり、キャリアアップ支援による働きがいの創出などに取り組んでいます。

ダイバーシティ & インクルージョン

障がい者雇用の推進

カスミで働く障がい者は法定雇用率を上回る257人（2023年2月末現在）。特例子会社のカスミみらいでも54人が活躍しています。

カスミの障がい者雇用の推移(単位:%)



技能実習生の受け入れ

2017 年以降ベトナムからの技能実習生を受け入れ、帰国後に母国で活躍できるようにキャリアアップのお手伝いをしています。

男性育休取得の推進

仕事と家庭生活の両立支援や男性育休取得の推進、就業時間の適正化など、さまざまな制度や取り組みを通じて従業員の柔軟な働き方をサポートしています。



子育てにやさしい企業として厚生労働大臣から「プラチナくるみん」認定

女性活躍推進

女性管理職の登用などを進め、2016 年 6 月に茨城県で初めて女性活躍推進企業の最高位、厚生労働大臣認定「えるぼし」3 つ星を取得。2023 年 3 月末の女性管理職の比率は 11.1% となりました。



厚生労働大臣「えるぼし」3つ星認定

カスミ257人
カスミみらい54人
合計 311人
障がい者雇用
(2023年2月末現在)

68人
技能実習生の受け入れ
1～4期生

10人
2022年度
男性育休取得者

管理職289人
女性32人
11.1%
女性管理職
(2023年4月末現在)



キャリアアップ

フレキシブルパートナー制度

柔軟で効率的な働き方と自律的なキャリア形成が可能となる新しいパートナー社員制度。チーフ職まで担うことができ、スキルに応じて昇給します。パートナー社員に占めるフレキシブルパートナーの割合は48%（2023年4月末現在）です。

組織人事プロジェクトによる制度刷新

従業員の多様な働き方やキャリア形成をサポートするため、2022年度から新しい教育体系を構築。マーケティングなど幅広い分野を学べ、キャリアデザイン研修や公募型チャレンジプログラムを新設しました。また、一人ひとりが自ら目指すキャリアアップの意志と会社が求める人財配置を双方向で検討し、誰もが活躍できる透明性ある組織を目指しています。

技術資格認定制度

レジ・鮮魚・デリカ・青果・ベーカリーの各部門で1～3級の実技・筆記試験を実施。2023年2月末現在、有資格者は1級148人、2級638人、3級1361人、合計2147人です。

トレーニングスクール

店舗各部門の従業員の技術力の育成と効率的な教育訓練を行う施設として、新入社員研修や新店研修・技術資格認定などに利用しています。

リテールシェフアカデミー

お客さまに新たな価値をお届けできる従業員育成のため、シェフや料理専門家を講師に食材や調理技術などについて学ぶU.S.M.Hのオリジナルプログラム。卒業後はお客さまに「食」を提案し、商品との出会い、地域との繋がりなど、お客さまの目線に立った価値をお届けしています。

食育インストラクター

養成講座を受講した従業員28人が、5 A DAY 食育学習の講師として活躍しています。

食育士

お客さまへのさらなる食の情報提供を目的に導入した社内資格。2023年4月末現在、1級15人、2級466人、3級全従業員が取得しています。

健康経営

特定保健指導

カスミの研修を受けた管理栄養士が従業員とその家族を対象に対面型とオンライン型で特定保健指導を行っています。



トレーニングスクール



リテールシェフアカデミー



食育インストラクター



特定保健指導

カスミいいねの森保育園

内閣府の企業主導型保育事業を活用し、2019年7月に茨城県つくば市の本社敷地内に開園、食育に力を入れているのが特徴です。従業員の子育て支援はもとより、つくば市の待機児童対策への貢献を目指します。



運動会



食育の様子

「わたしの企画」応援します！ 30周年記念イベント

「わたしの企画」応援します！は1993年から続くカスミの社会貢献活動。カスミつくばセンターを会場として開放し、地域の皆さまが手づくりの企画を実施するのをサポートしています。2022年には30周年を迎え、9月11日に記念イベントを開催。過去の採択企画の発表や関連ワークショップ、茨城県立竹園高等学校SDGsサークルの生徒とSDGsを考え、同じ志を持ち活動をされている羽田美智子さんとSDGsトークショーなどを行いました。



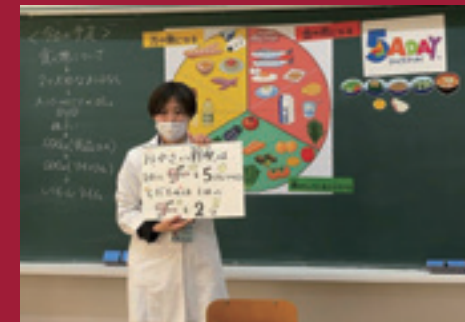
トークショー



企画発表

5 A DAY 食育学習

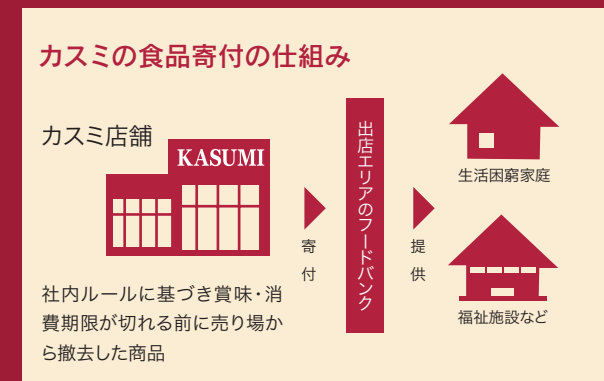
「子どもたちに食べることの大切さ」を知っていただく食育学習を実施しています。2022年度は新型コロナウイルス感染拡大防止対策をしたうえで、小学校や保育園などに出向いて食の大切さを伝える授業や、webを使用したオンライン食育学習を422回実施しました。先生方からも喜びの声をいただいています。



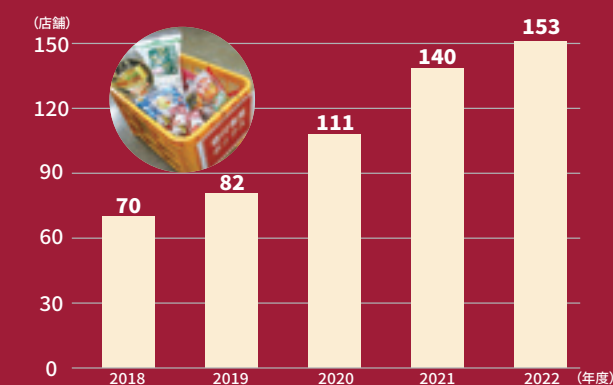
出前食育学習の様子

フードバンク活動

販売管理のために売り場から撤去した賞味期限・消費期限前の食品を、出店地域のフードバンクや社会福祉協議会を通じて生活困窮者や子ども食堂へ贈る活動を、2023年2月末現在153店舗で実施しています。



フードバンク活動取り組み店舗数の推移



地域社会との連携



地域スポーツ支援



筑波大学蹴球部

茨城県つくば市の国立大学法人筑波大学の認定する課外活動組織「筑波大学蹴球部」を公認スポンサーとして応援しています。



© KASHIMA ANTLERS

鹿島アントラーズ

茨城県鹿嶋市、神栖市、潮来市、行方市、鉾田市をホームタウンとするプロサッカークラブ「鹿島アントラーズ」をクラブパートナーとして応援しています。



自治体との連携

地域の活性化など幅広い分野で連携する「包括連携協定」を茨城県のほか17市9町1村（合計28自治体）と締結しています。また、大規模災害の発生時に、行政の要請により食料や生活物資を優先的に提供する物資の供給協定を58自治体などと結んでいます。



包括連携協定を締結した自治体	
茨城県	茨城県：茨城県／つくばみらい市／守谷市／つくば市／利根町／八千代町／土浦市／常総市／下妻市／河内町／稲敷市／大洗町／五霞町／城里町／美浦村／石岡市
埼玉県	埼玉県：三芳町／白岡市／桶川市／久喜市
千葉県	千葉県：我孫子市／茂原市／白子町／白井市／匝瑳市／東金市
栃木県	栃木県：益子町
群馬県	群馬県：大泉町
災害時の物資の供給協定を締結した自治体等	
茨城県	茨城県：守谷市／日立市／筑西市／ひたちなか市／笠間市／茨城町／東海村／つくば市／神栖市／取手市／下妻市／結城市／行方市／かすみがうら市／利根町／阿見町／石岡市／八千代町／土浦市／常総市／常総市広域消防／牛久市／つくばみらい市／美浦村／大洗町／五霞町／古河市／河内町／稲敷市／城里町／ネクスコ東日本谷和原管理里事務所
埼玉県	三郷市／宮代町／春日部市内地区／三芳町／桶川市／鴻巣市／白岡市／北本市／久喜市
千葉県	我孫子市／東金市／多古町／八千代市／匝瑳市横芝町消防組合／匝瑳市／ネクスコ東日本千葉管理事務所／白井市／大網白里町／睦沢町／白子町／茂原市
栃木県	壬生町／益子町
群馬県	桐生市／大泉町

地域の廃棄物削減とリサイクル

廃棄物の削減とリサイクルに取り組んでいます

カスミでは廃棄物の大幅な削減という目標を掲げています。全店にリサイクルステーションを設置してお客さまとともに資源物の回収、リサイクルを進めるとともに、食品リサイクル・ループに取り組んでいます。

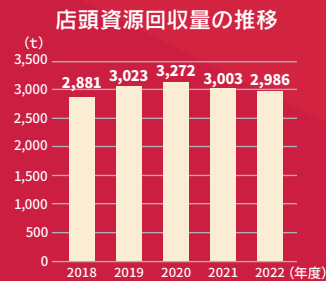
2022年度 店頭資源回収量

2,986t

【店舗でのリサイクル】

リサイクルステーション

地域のお客さまの協力を得て、牛乳パックやアルミ缶・スチール缶、食品トレイ、透明容器、ペットボトル、ペットボトルキャップ、古紙など資源物の回収を行っています。



レジ袋削減の取り組みとレジ袋収益金の寄付

カスミでは、1974年に買い物袋持参運動を始め、レジ袋有料化を先行して実施しました。2020年7月のプラスチック製買い物袋有料化の法制化にともない、カスミ全店でレジ袋無料配布を終了。お買い物袋持参運動を推進し、2022年度までに121,831,366枚のレジ袋をご辞退いただきました。2022年度のレジ袋辞退率は84.5%です。

食品リサイクル・ループ認定

2021年10月、農林水産大臣ならびに環境大臣による食品リサイクル法に基づく「再生利用事業計画」の認定を取得しました。店舗で分別した食品残さなどを保冷車で運搬し、再生利用事業者で飼料化。養鶏場ではその配合飼料を給餌した鶏から採卵し、その卵をゆで卵に加工して、カスミ店舗でゆで卵入り弁当などを製造販売しています。2023年5月より群馬県のカスミ4店舗に拡大しました。

環境会計

環境保全コスト

(単位：千円)

環境保全コストの分類		2021年度	2022年度	主な取組内容
事業エリア内コスト	公害防止コスト（大気汚染防止、水質汚濁防止、悪臭防止、騒音・振動防止）	60,674	46,353	ボイラー保守、浄化槽・クリストラップのメンテナンス、排気ダクトのメンテナンス、防音壁の設置等
	資源循環コスト	576,808	596,238	生ごみリサイクル、廃棄物の処理費用
	地球環境保全コスト	20,118	20,008	カスミ共感創造の森、フロン適正処理
上・下流コスト	容器包装等の低環境負荷化	51,940	64,245	容器包装リサイクル法委託料
		43,578	43,766	店頭回収に係る費用 他
管理活動コスト	環境情報の開示・環境広告	82,392	87,371	環境報告書、環境社会貢献担当部署の管理費等
	環境負荷監視	11,640	12,056	廃棄物一元管理会社ビートルマネジメント管理費、JWネット手数料
		689	394	排水水質検査
	自然保護、緑化、景観保持等	5,178	5,619	植栽管理
合 計		853,017	876,050	

環境保全効果

環境効果の内容		2021年度	2022年度	効 果（前年比）
事業エリア内コストに対応する効果（店舗）	エネルギー投入量	電気（千kWh）280,540	273,791	原単位あたりで97.6%、総量で97.6%
	ガス（千m ³ ）	765	892	原単位あたりで116.6%、総量で116.5%
	水道（千m ³ ）	1,124	1,073	原単位あたりで95.5%、総量で95.4%
	廃棄物の排出等	総発生量（t）35,693	33,650	前年比94.3%
		リサイクル量(t) 23,296	21,822	前年比93.7%
上・下流コストに対応する効果		リサイクル率(%) 65.3	64.8	前年対比0.5ポイント減
	店頭資源回収量	牛乳パック、アルミ缶、食品トレイ、ペットボトル（t）2,892	2,583	前年比89.3%
	容器包装利用量（t）	2,382	2,298	前年比96.5%
	レジ袋の削減枚数（万枚）	12,120	12,183	前年比100.5%

経済的效果

(単位：千円)

内 容	2021年度	2022年度	効 果
リサイクルにより得られた収入（資源売却、発泡スチロール自社リサイクル等）	341,913	439,716	店頭回収資源、段ボール、発泡スチロールの売却金等
レジ袋削減運動によるコスト削減	334,896	285,219	年間レジ袋推定仕入費用×（レジ袋削減枚数÷年間仕入枚数）
スチロール自社リサイクルによるコスト削減	3,8943	19,475	産業廃棄物処理費（200円/kg）と自社処理経費の差額
合 計	715,752	744,410	

3RによるCO₂削減

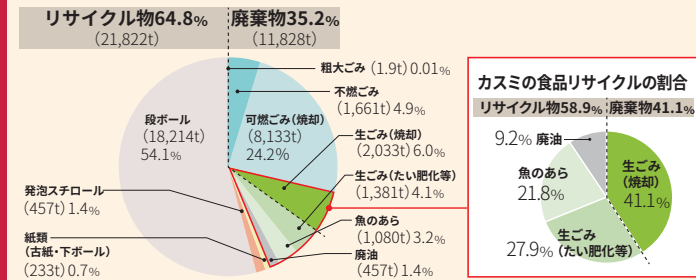
カスミは店舗・施設やお客さまとともに行うリサイクル活動、商品・物流を通してCO₂排出量の削減に取り組んでいます。2022年度は店頭リサイクルやレジ袋削減など3Rにより約6.5万tのCO₂を削減、CO₂総排出量は約6.5万tとなりました。

※3Rとは、Reduce(リデュース)、Reuse(リユース)、Recycle(リサイクル)の3つのRの総称。

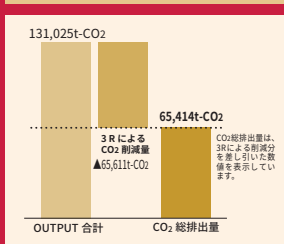
廃棄物とリサイクル率

2022年度の廃棄物総排出量は33,650tで、このうち21,822t（64.8%）をリサイクルしました。食品のリサイクル率は58.9%です。

カスミの廃棄物リサイクルの割合



2022年度CO₂排出量



商号	株式会社カスミ
代表者	山本慎一郎(代表取締役社長)
本社	〒305-8510 茨城県つくば市西大橋599-1 Tel.029-850-1850 https://www.kasumi.co.jp/
設立	1961年6月
資本金	1億円
営業収益	2,845億62百万円(単体)
店舗数	194店舗
従業員数	2,929人
事業内容	食料品、家庭用品、衣料品等の小売販売を行うスーパーマーケット事業

※2023年2月末現在
 ※従業員は正社員であり、他にパートナー社員(パートタイマー)及びアルバイトを7,679人(8時間換算・期中平均雇用人員)雇用しております(連結)。
 ※営業収益は収益認識に関する会計基準を適用。



本社:カスミつくばセンター

イベント会場として地域の皆さまにも開放されています。



カスミの事業所



流通センター

カスミの物流拠点。茨城県かすみがうら市、桜川市、千葉県佐倉市の3か所。



精肉加工センター

カスミの店舗に加工肉を供給。茨城県土浦市、千葉県佐倉市の2か所。

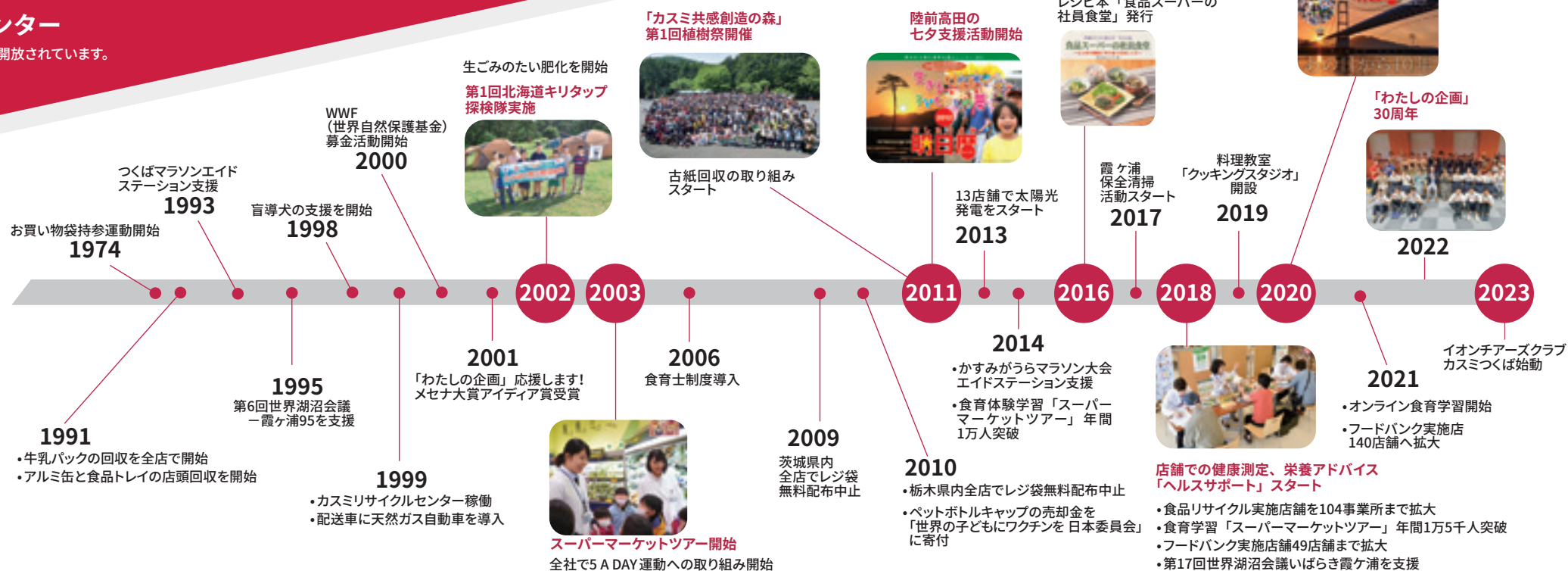
リサイクルセンター

店舗で回収した資源物を選別・圧縮・梱包するリサイクル拠点。茨城県かすみがうら市と千葉県佐倉市の2か所。

環境・社会貢献活動のあゆみ

カスミは1974年の「お買い物袋持参運動」を皮切りに、地域・地球の環境保全をはじめ、地域の文化・スポーツ振興、食育推進など、お客さまや地域と協力しながらさまざまな取り組みを行ってきました。

※写真は必ずしも当時のものではありません。



KASUMI GROUP カスミグループ

株式会社協栄エイアンドアイ

損害保険・生命保険代理店/1961年4月設立/資本金55百万円/
 営業収益1億81百万円/従業員数18人
<http://www.kyoei-net.co.jp/>

株式会社ローズコーポレーション

米飯・惣菜・サラダの製造/1987年2月設立/資本金1億円/
 営業収益58億66百万円/従業員数408人
 (FOOD OFF ストッカー デリカ部門含む)
<https://www.rose-corp.co.jp/>



株式会社カスミグリーン

食品製造販売/2009年8月設立/資本金50百万円/
 営業収益11億73百万円/従業員数63人



株式会社カスミみらい

食品製造販売/2018年9月設立/資本金50百万円/
 営業収益2億83百万円/従業員57人
<https://kasumi-mirai.co.jp/>

※データは2023年2月末現在
 ※従業員数の内パート、アルバイトは8時間換算
 ※営業収益は収益認識に関する会計基準を適用。

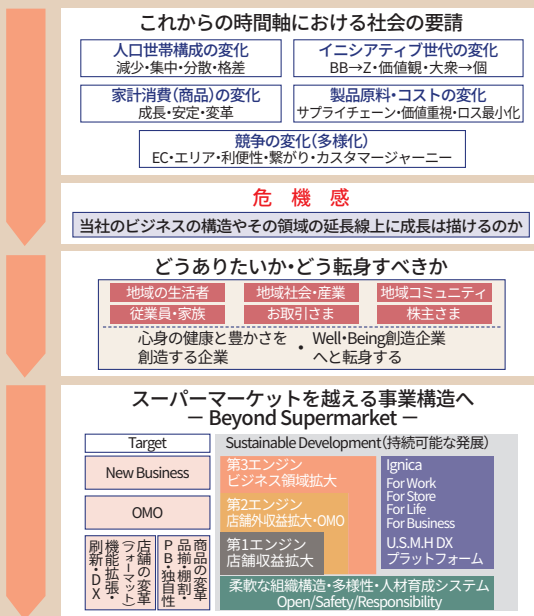
U.S.M.Holdings

ユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス



ユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス株式会社は、2015年3月に株式会社マルエツ、株式会社カスミ、マックスバリュ関東株式会社の経営統合により、共同持株会社として設立されました。社会の大きな変化の中で「私たちはどうありたいのか、どう転身すべきか」という根源的な問いに向き合い、サステナブルな将来像を徹底的に検討し策定した第3次中期経営計画に取り組んでいます。本計画により、地域の生活者・文化・産業・コミュニティ、そして従業員とその家族のウェルビーイングに対して強い信念を持ち、3つのエンジンの確立により、独自の価値を創造し続けることで、地域とともに成長していく企業への転換を目指し、既存のスーパーマーケットの歴史と概念を尊重しながらも、それを越える事業構造、すなわち「Beyond Supermarket」を目指し、価値創造と持続的な事業成長を追求してまいります。

第3次中期経営計画(2023-2025) / 中期経営方針



■会社概要

社名 / ユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス株式会社
 代表者 / 代表取締役社長 藤田 元宏
 本社所在地 / 東京都千代田区神田相生町1番地
 設立 / 2015年3月2日
 資本金 / 100億円
 事業内容 / スーパーマーケット事業の管理

■グループ店舗数

グループ合計
529店舗

直近の店舗数はU.S.M.Holdingsホームページをご覧ください。
 (<https://www.usmh.co.jp/>)

■グループ営業収益

	店舗数	営業収益
株式会社マルエツ	304店舗	3,788億円
株式会社カスミ	194店舗	2,860億円
マックスバリュ関東株式会社	31店舗	434億円
果 計	529店舗	7,086億円

※店舗数は2023年2月末現在
 ※営業収益は2023年2月期連結決算数値

